

	学校だより 芽吹き	FOR 2050	教育目標 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう（賢く） 2 思いやりのある、心豊かな人になろう（優しく） 3 心身ともに、たくましい人になろう（逞しく）
	NO. 142	令和3年10月8日発行 中野区立南中野中学校	



振り返りと実行

校長 竹之内 勝

10月8日(金)のハイブリッド(3年生対面と1・2年生オンライン)

前期終業式における校長講話から

今日で令和3年度の前期が終業します。笑顔の皆さんと前期を充実して終わることができ、とてもうれしく思っています。前期の様々な取組の中で、皆さん一人ひとりに大きな成果があったと確信しています。保護者や地域の方々からも

「前向きに学ぶ生徒たちの姿を感じる。」
 「生徒たちにまとまりや盛り上がりがある。」
 など、たくさんのお褒めの言葉をいただいています。

大きな成果があふれている南中という環境の中で、気付いていない人もいることと思いますが、確実に、大きな成果が力となって、一人ひとりに身に付いています。令和3年度前期、南中生一人ひとりが、本当によく頑張りました。

南中における今年度前期の生徒アンケートで、「そう思う」と肯定的に回答した割合を、上位から順にお知らせします。

- 96.7%
挨拶がよくできている(徳)
- 91.5%
学校生活は楽しい(徳)
- 81.3%
体力テスト「中野スタンダード」
達成生徒(体)
- 69.2%
自分の学力は向上している(知)

- 65.8%
ほぼ毎日運動している(体)
- 65.6%
相談事や悩みを相談できる(徳)
- 65.6%
家庭で毎日学習(予習)している(知)
- 61.1%
読書を1日10分以上している(知)

割合が上位となっている内容は、南中生の強みです。自信をもって、これからも学校生活を続けていきましょう。また、個々に振り返り、自身がどうであったか、今後どうしていくかを決意し、実行していきましょう。

このあと、これまでの南中での学びが、通知表として学級担任の先生から渡されます。通知表には、厳しいことや耳の痛いことも書いてあるかもしれませんが、しかしそれは、先生方からの本音での励ましたと受け止め、これからの新たな「振り返りと実行」につなげてください。2日間という短い秋休みだからこそできる決意を胸に、後期始業式である10月11日(月)、更なる笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

「FOR2050(2050年に向けて)～東京一さわやかなあいさつのできる学校～」のもと、新しい一歩を踏み出す秋休みとしてください。

